

市民等意見聴取方法について

1 市民アンケート調査の実施

環境基本計画の主観的指標の点検・評価のため毎年実施。現在、次期計画の策定に際し、審議会等の議論から設問を追加して実施中。

- ・対象者：市民 1,000 名（年齢・性別・居住行政区の人口構成を考慮）
- ・実施期間：令和 7 年 2 月下旬～3 月上旬（※結果は 3 月中にとりまとめ）
- ・調査方法：インターネットモニター調査
- ・追加設問：事業者の環境取組の社会的支持、観光客に望む行動、次期計画への期待
(→別添 1 枚目)

2 既存アンケート調査の活用

(1) 市内事業者：京都商工会議所アンケート

- ・名称：「環境対策への取り組み状況についてのアンケート調査」
- ・実施時期：令和 6 年 6 月 18 日～7 月 10 日 ・対象：会員 8,343 社
- ・調査方法：会員向けメール・HP ・有効回答数：602 社（有効回答率 7.2%）
(→別添 2～4 枚目)

(2) 滞在者（観光客等）

①市外在住者アンケート（京都市総合企画局）

- ・実施時期：令和 6 年 7 月 25 日～8 月 3 日
- ・調査対象：全国を 12 エリアに分けそれぞれのエリアから、各区分（年齢 6 区分×性別 2 区分）50 サンプルを抽出。有効回答数 7,195。（≒50×6×2×12）
- ・調査方法：インターネットモニター調査
(→別添 5～7 枚目)

②京都観光総合調査（京都市産業観光局）

- 日本人観光客 観光消費動向・満足度・実態・持続可能な観光に対する意向調査
 - ・京都市内の主要な鉄道駅、観光施設等全 13 箇所において、各期（季）無作為に調査対象者を抽出。郵送回答。サンプル数 4,077。
- 外国人観光客 観光消費動向・満足度・実態・持続可能な観光に対する意向調査
 - ・京都市内の主要な観光施設等、全 6 箇所において、各期（季）無作為に調査対象者を抽出。面接聴取。サンプル数 1,696。
(→別添 8～11 枚目)

3 各種団体等へのヒアリング

- ・事業者や民間団体に所属される方に各方面の状況を聴取。（アンケートでの定量的データと合わせ、計画の検討に活用していく。）

（ヒアリング済の聴取先）

事業者	京都工業会、K E S 環境機構
観光	京都市観光協会、J T B 京都支店
民間団体等	(公財)京都市環境保全活動推進協会、京都府地球温暖化防止活動センター、気候ネットワーク

4 若い世代向け動画配信に係るアイデア募集

若い世代向け動画配信に向け、若い世代を中心として、おススメの環境に関する行動、活動、イベント、魅力的なスポット等についてのアイデアを募集。

- ・ 募集期間：令和6年11月28日～令和7年1月31日
- ・ 応募件数：33件

5 ワークショップ（想定）

自らの生活により身近で具体的な意見を、他人の意見も聞きながら考えていただくため、ワークショップを実施（時期：令和7年5～7月を予定。）

→ 一般市民及び未来を担う子どもたちからの意見を取り入れるため、①若年層（中学生以下）、②一般層（高校生以上）の二本立て（それぞれ約50名規模）で開催する。

加えて、京エコロジーセンターやさすてな京都、きょうと生物多様性センターにおいて募集用紙を配置し、夏休み期間中に随時意見を聴取する。

※ワークショップ実施後、次期計画への掲載の必要性を検討する。

6 パブリックコメント（想定）

審議会の答申を踏まえた環境基本計画の基本的事項についてのパブリックコメントを、分野別計画の中間見直し状況に応じた一体的な実施も見据えながら、令和7年12月以降に実施する。